

原稿校了後の前兆変化について

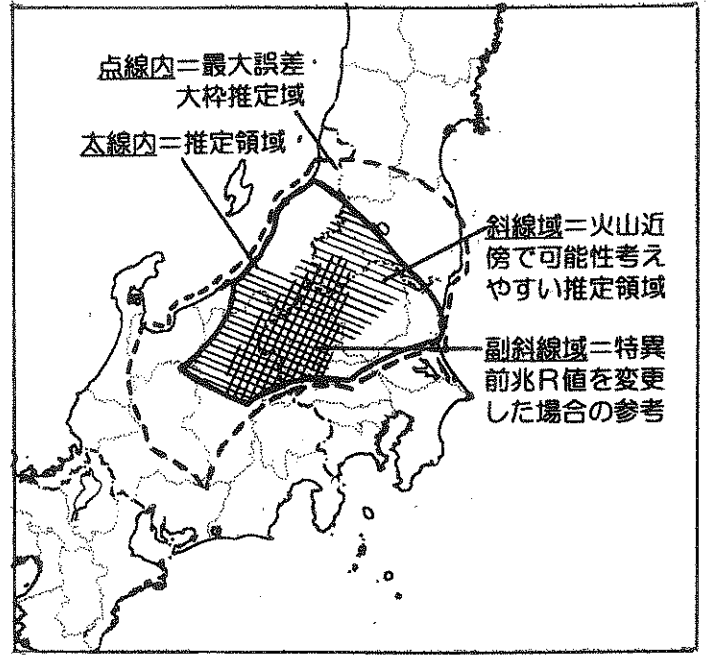
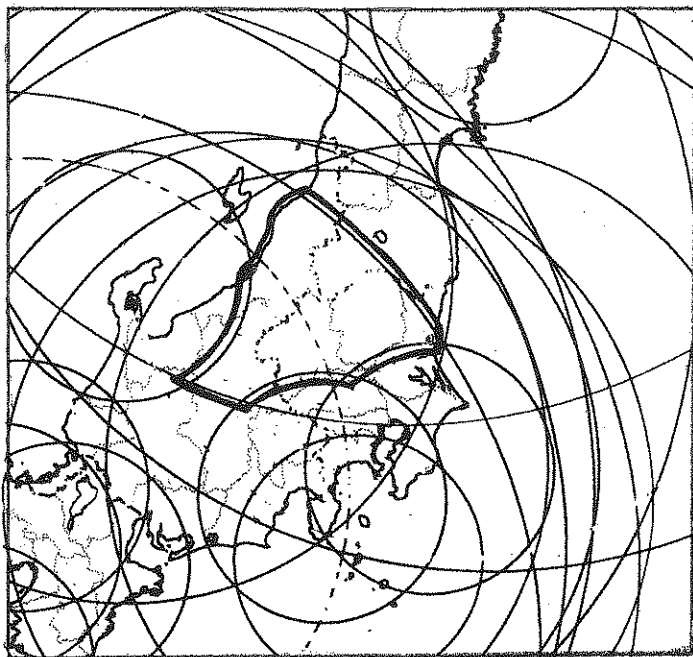
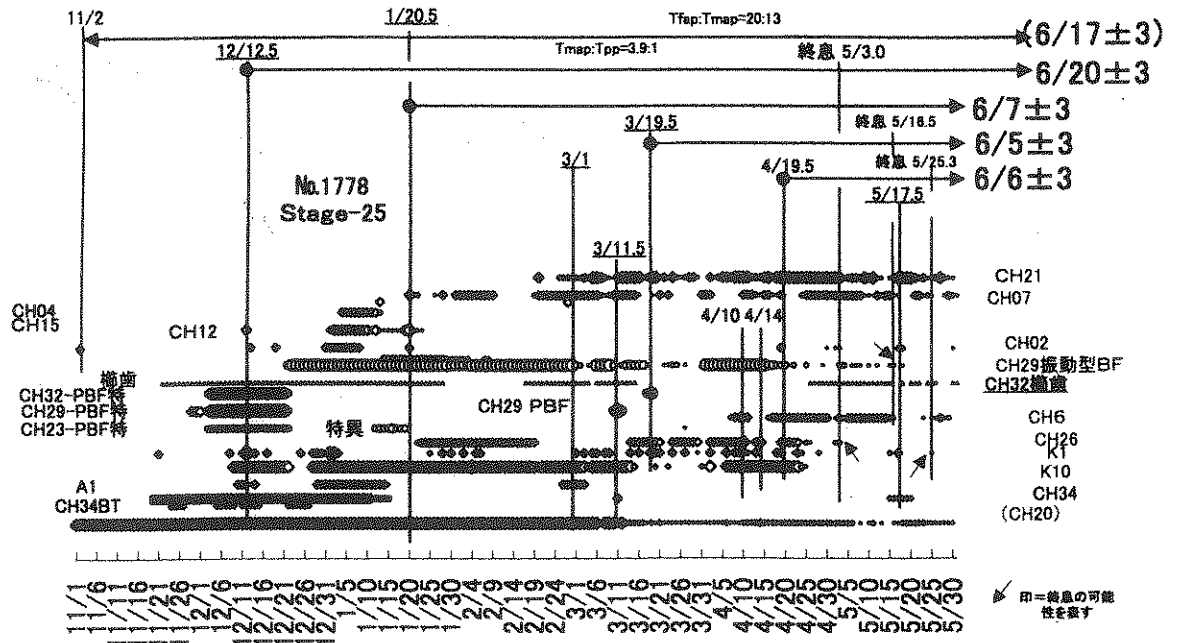
八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
 Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1996

No.1778長期前兆続報 ほぼ前兆終息の可能性 6/6±1 発生可能性

2008年07月より11年近く長期に渡り継続出現していたNo.1778前兆は、主な明確顕著前兆は終息。CH32揃速も本日14時前に終息。現在CH21が若干基線不安定程度。

本日5/31.6終息として計算しますと、6/5発生となりますが、まだCH21の基線が若干不安定です。このため、現在までの推定とおり 6/6±としますが、6/6の可能性が考えやすい状況です。明日以降の変化で修正の場合は続報予定。

また推定領域図を作図し直しました。下右図副斜線領域は特異前兆のR値を500 から400 に変更した場合の参考推定領域。



PBF・BF・特異各前兆から求めた推定領域図 (太線内領域)

斜線領域=火山近傍領域の可能性有・副斜線領域=参考推定

- ◆推定領域：上図太線領域内 (大枠推定領域=点線領域内) 上図斜線領域=火山近傍で可能性考えやすい推定領域
 上図副斜線領域=参考推定領域 (あくまでも斜線領域内が考えやすい)
- ◆推定規模：M7.8±0.5 震源浅い陸域地殻地震 (火山にやや近い領域の可能性考えやすい・火山前兆も観測されている為)
- ◆推定時期：早い場合=6月6日±1 (今後の観測で修正の可能性も有)
- ◇推定発生時刻：午前9時30分±1時間 (又は午後4時±3時間)

※その他、前兆検知可能な別の大型地震・中規模地震が推定される前兆はありません。 Copyright 2019 YSBO 八ヶ岳南麓天文台